

## ピレスパ錠 200mg

### 【この薬は？】

販売名	ピレスパ錠 200mg Pirespa Tablets 200mg
一般名	ピルフェニドン Pirfenidone
含有量 (1錠中)	200mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗線維化剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、肺の線維化を抑制することにより、肺機能の悪化を抑制します。
- ・次の病気の人に処方されます。

#### 特発性肺線維症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

### 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○光線過敏症（日光のあたる部分に発疹や水ぶくれができる、日光の照射による過度の日焼け、皮膚の色素沈着、かゆみ）があらわれることがあるため、この薬を

使用する前に患者さんは以下のことについて十分に説明を受けてください。

- ・外出時には長袖の衣服、帽子などの着用や日傘、日焼け止め効果の高いサンスクリーン（SPF50+、PA+++）の使用により、紫外線にあたることを避けてください。
- ・発疹、かゆみなどの皮膚の異常があらわれた場合は速やかに医師に連絡してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にピレスパ錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝臓に障害のある人
- ・腎臓に障害のある人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	初期用量	維持用量
1 回量	1 錠	3 錠
飲む回数	1 日 3 回食後	

- ・2週間を目安に1回量が1錠ずつ増量されます。
- ・この薬を空腹時に飲むと、副作用があらわれやすくなるため、食後に飲んでください。
- ・胃腸障害などがあらわれた場合には、減量や休薬されることがあります。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、1回分を軽食をとった後に飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・外出時には長袖の衣服、帽子などの着用や日傘、日焼け止め効果の高いサンスクリーン（SPF50+、PA+++）の使用により、紫外線にあたることを避けてください。

- ・発疹、かゆみなどの皮膚の異常があらわれた場合は速やかに医師に連絡してください。
- ・眠気、めまい、ふらつきがおこることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・肝機能障害や黄疸があらわれることがあるため、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・タバコ（喫煙）はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、発熱
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐、のどの痛み
胸部	吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる



●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：塩野義製薬株式会社

(<https://www.shionogi.com/jp/ja/>)

医薬情報センター

電話：0120-501-074

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）